

応急手当普及員講習を実施

12月8～9日、本学にて応急手当普及員講習を実施し、すでに上級救命講習を履修した学生40人、教員2人が参加しました。この講習の目的は、胸骨圧迫、人工呼吸、AED操作などについて、その指導技法を習得することです。2日間にわたって実技と講義を繰り返した結果、見事に全員が修了し、成田市消防から認定証が交付されました。これによって、普通救命講習及び救命入門コースに指導員として従事することができるようになりました。修了者の多くは来年4月に医学部の新入生を対象に実施する「ウェルカムBLS」で指導員としてデビューすることになります。



医療福祉の多彩なエキスパートを育てる。

国際医療福祉大学